

オリエンタル・マルサンアイ 若鯨家コラボ商品開発

若鯨家はオリエンタル、マルサンアイとそれぞれコラボし若鯨家監修の商品に取り組み、オリエンタルは「マースカレー若鯨家和風」、マルサンアイは「若鯨家監修カレー鍋スープ」を開発。8月2日より両品の販売を開始した。「若鯨家監修カレー鍋スープ」は8月2日に東海エリア一部SMで先行発売、8月23日に全国発売。



オリエンタルが展開する「マースカレー若鯨家和風」は、オリエンタルのロングセラー商品「マースカレー」と若鯨家の

主力商品「名物カレーうどん」がコラボ。カレーの関わりの深い老舗企業がタッグしマースチャツネのまるやかさと魚介の風味豊かなだしがしつかりと効いたコク深い味わいの和風カレーが生まれた。パッケージは「マースカレー」をベースに若鯨家「和風」のロゴを配置しコラボ商品であることを訴求する。



マルサンアイが展開する「若鯨家監修カレー鍋スープ」は、マルサンアイの高い商品開発力により若鯨家の看板メニューの名古屋流カレーうどんをストレートタイプの鍋

ついで商品化。風味豊かな和風だしをベースにしたカレー味に味噌をプラスし、コクがあり食欲を刺激するスパイシーさを備えつつも深みのある味わいに仕上げた。パッケージは若鯨家監修を強くアピールするとともに、豆乳を入れることでまろやかにすることを記した。7月29日には名古屋市内で新商品が披露され、若鯨家・高橋知子社長、オリエンタル・星野恭徳常務取締役、マルサンアイ・阿部隆之名古屋支店長らが出席し商品説明や

意気込みを語った。若鯨家・高橋社長は「食品メーカーとのコラボは積極的に進んでおり、今回の新商品のほか、今年はカゴメとコラボしたメニューの展開も行っている。コロナ禍がありイトイ以外のビジネススタイルとしてECなどへのチャレンジを考え、今回の新商品は大きな役割を担う。コロナ禍で厳しい状況であるが、今後も若鯨家ブランドを大事にしていくための取組みを進めていく。なお、新商品発売の8月2日はカレー

うどんの日であり、強くアピールしていきたい」と述べた。オリエンタル・星野常務は「東海で食に携わる企業同士、異業種であるがカレーを軸に手をとり誕生した。名古屋生まれの若鯨家と愛知のカレーの老舗の当社とのコラボ商品で、ベースの『マースカレー』は昭和37年生まれで来年60周年を迎え、若鯨家のカレーうどんも登場から30年を超えるの、ともにロングセラーブランド。まるやかさと魚介のだしの効いた幅広い世代に好まれる

和風カレー」とした」と解説。マルサンアイ・阿部名古屋支店長は「新商品開発に際して店の味の再現ではなく、美味しいカレー鍋の実現に注力、辛さとコクの調和した美味しいカレースープが誕生した。当社の70周年にコラボ商品を開発できることを嬉しく思う。新商品は展示会などで反響が大きく8月2日に一部SMで先行発売した。愛知のソウルフードである若鯨家のカレーの味を、当社の全国の営業力で全国に発信する」と紹介した。